

新潟県

公民館月報 4

平成12年4月号 通巻第566号



表紙 「学習の成果を地域に生かそう」と読み聞かせ講座修了者による和納小学校での一こま
(岩室村公民館)

資料提示 「学習成果を地域の発展に生かすにあたっての課題と対応方策」

視 点 横丁の公民館 依山迪夫
ひろば わが沖縄の記 市橋喬二
実践記録 「おやし大学」から「さわやか大学」へ
サークル交流 ひまわりサークル (小千谷市公民館)
カナリヤの会 (吉田町公民館)
素顔拝見 浜崎賢一さん (両津市公民館)
土肥正臣さん (能生町公民館)

第51回 新潟県公民館大会開催要項(案)

大会主題 「50周年を迎えた今、これからの公民館の在り方を考える」
-21世紀を展望して、学習する側から見た公民館活動-

- 趣 旨**
新潟県公民館連合会が昭和25年創立以来、公民館事業をとらして県内社会教育の推進に果たした役割は極めて大きい。
生涯学習社会を迎え、その中核施設である公民館は学習活動の拠点としての役割だけでなく、社会教育の推進をなお一層充実させる要でもあることは、時代が急速に変化する中においても普遍であるといえよう。
今日、公民館をめぐる状況には厳しいものがある。創立50周年を迎え、これを機会に、学習者の視点で公民館の歩むべき方向を考えていくことが重要である。
- 主 催** 新潟県公民館連合会 下越地区公民館連絡協議会
- 共 催** 新潟県教育委員会
新潟県公民館振興市町村長連盟 聖籠町 水原町
二市北蒲原郡教育委員会連合会
- 主 後** 二市北蒲原郡公民館連合会
- 日 時** 平成12年7月19日(木)午前9時30分開会
- 会 場** 「新潟県公民館大会並びに創立50周年記念式典」
聖籠町市民会館 〒957-0117 北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1280
TEL0254-27-2121 FAX0254-27-7976
- 記念祝賀会**
新発田ベルナル 〒957-0018 新発田市緑町2-4-22
TEL0254-26-5511 FAX0254-22-5147
- 参 加 者** 市町村長、同議会議員、同議会議員、同教育委員、同社会教育委員、同公民館運営審議会委員、同公民館長、主事、教員、社会教育主事、社会教育指導員、学校教職員、社会教育関係団体役員、一般市民

9:00-9:30	11:00	12:45	13:00	14:30-14:50	15:20	17:00
受付	創立50周年記念式典	実践発表	昼食	記念講演	閉会式	創立50周年記念祝賀会

- 実践発表**
テーマ 「21世紀を展望して、学習する側から見た公民館活動」
事例1 (上越地区) 「ゆめ風船」 吉川町 篠崎 ツヤ 様
事例2 (中越地区) 「いきいきフォーラム」 刈羽村 廣川 優子 様
事例3 (下越地区) 「とよさか学院に学んで」 豊栄市 貝沼 英樹 様
須貝 へん子 様
司会者 新発田市公民館 須貝 へん子 様
助言者 聖籠町教育委員会 手鳥 勇平 様
- 記念講演**
演 題 「未 定」
講 師 宇都宮大学助教授 廣瀬 隆人 様
- 参加費** 県公民館大会資料代 2,000円
記念祝賀会費 4,000円 ※立食形式のパーティ-
- 申込み**
(1) 参加者は別紙申込書により、市町村ごとに取りまとめの上、6月30日(金)までに大会事務局まで申し込んでください。(FAXでも可)
参加費は、申込み期日までに下記の口座に振り込んでください。
銀行名 第四銀行水原支店 普通預金 口座番号1364199
名 義 新潟県公民館大会 実行委員長 古田 敏行
(2) 参加申込み受付後、「大会参加証」、「受領証」を一括送付します。
(3) 申込み責任者は、大会当日受付に「大会参加証」を提示し、大会資料等を受領してください。
(4) 参加申込みの取り消しは、7月5日(木)までとし、それ以降は大会参加費並びに記念祝賀会費等の返却はいたしかねますのでご了承ください。
- 大会事務局**
〒959-2092 北蒲原郡水原町岡山10-15 水原町教育委員会 生涯学習課内
第51回新潟県公民館大会実行委員会事務局
TEL0250-62-2510 FAX0250-61-2037

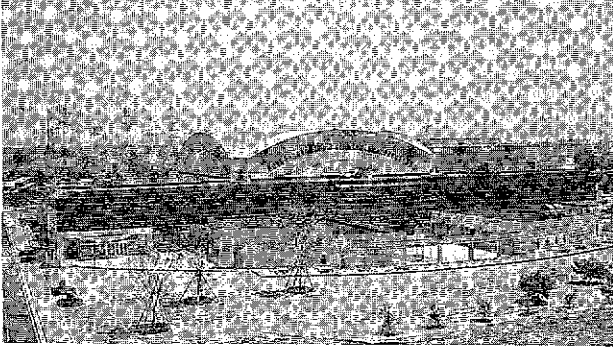
第51回県公民館大会開催要項案でできる
兼県公連創立50周年記念式典並びに50周年記念祝賀会

主題 『50周年を迎えた今、これからの公民館の在り方を考える』

第51回県大会は、当会創立50周年記念大会を兼ねて七月十九日(木)開催となった。今回、その開催要項案ができて上がったのでここに紹介したい。

大会事務局を水原町公民館に置き、大会会場は聖籠町市民会館での開催となった。

大会内容は、創立50周年の節目でもあり、「50周年を迎えた今、これからの公民館の在り方を考える」をテーマに掲げ、また「21世紀を展望して学習する側から見た公民館活動」をサブテーマに設定し、上・中・下越管内



聖籠町市民会館全景

からそれぞれ実践発表してもらい、討議を深める予定としている。

記念講演講師としては、宇都宮大学助教授廣瀬隆人先生をお招きし、お話ししていただくこととしている。先生は、県生涯学習推進センターの事業をとおしておなじみの方でもある。

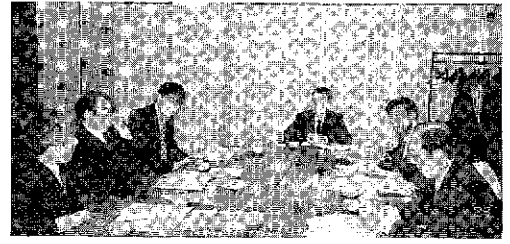
主管公連の二市北蒲公連では四月早々から総力を結集して大会準備に入る予定であり、また50周年を祝して公民館の大先輩をはじめ、関係各位多数の参加を望んでいる。

◎県公連事務局からのお知らせ!!

・事務職員の非常勤嘱託化に伴い、事務局の受付、電話等の対応時間が4月3日より下記のように変更になりました。

9:00~12:00 <昼休み> 13:00~17:00

第2回 編集委員会開催される



1. 12年度前半の特集計画作成
2. 50周年記念誌内容構成

今年度第2回の編集委員会が予定より少し遅れて、3月23日(木)新潟市中央公民館で開催された。

今回は、「月報」平成12年4月号から9月号までの特集テーマについて、各委員があらかじめ提出しておいた案についてそれぞれ協議し、12年度前半の計画を策定した。なお、掲載し切れないテーマについては、後半の特集テーマとして採り上げるべく努力することとした。

次いで、県公連創立50周年記念誌の刊行計画については、40周年誌を基本にした作成計画案について事務局から提案され、協議したが、予算の関係から小幅な修正を加えて作成することとなった。

なお、具体的な作成作業は、5月末の理事会、評議員会を経た後、各市町村公民館の協力を得ながら着手することとしているので、何分よろしくお願ひしたい。

視点

「ごめんください」
「あんたも来たかね」
公民館は、まさに住民が交差する横丁のサロン。学習者とともに訪れる幼児も含め、玄関は靴屋の陳列棚と化す。地域の香りを感ずる、最も公民館的で

あつたかな光景である。公民館をこよなく愛する人、誘われて来館する人、訪れる機会を待てないでいる人。その差が大きいのも、また現実である。常に「時代の動きと

魅力ある事業の魅力とは。若年層、シニア層が公民館に期待する期待とは。子どもが感動する、価値ある体験とは等々、公民館は、一朝一夕に解明される多

課題が山積みしているからといって、一方が先行するだけでは、崩れやすいひ弱な関係で終わってしまうからであらうか。

横丁の公民館

住民のニーズに正対する公民館」の内と外に

いる関係者の、たくさんの汗と知恵が思うように住民に浸透していかないのも、また厳しい現実と言える。

「ゆっくりと伸びる木はたくましい」という。社会教育と学校教育との新たな関係づくりをスタートさせたとこ

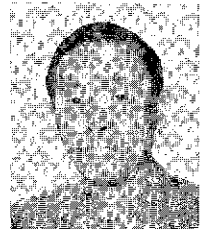
くの課題を抱えている。「ゆっくりと伸びる木はたくましい」という。社会教育と学校教育との新たな関係づくりをスタートさせたとこ

俄山迪夫

息づく公民館」は、住民と確かに手をつなぎ合う「横丁の公民館」から、じわりと生まれてくることを信じて。 (小千谷市立東小千谷小学校長)

わが沖繩の記

田上町公民館運営審議会委員 市橋 喬 二



ある社会教育団体の誘いに応じて、この二月半ば

に沖縄へ、四泊五日間のボランティアを含む旅で味わった、感動の体験を紹介したい。

初日、那覇で全国各地からの参加者の到着を待つて、一行四十二名の自己紹介と、旅の主目的である、国内で唯一の沖縄戦で、いまだ野晒しのままの遺骨を収集する作業等についての説明がある。参加者の中には遺骨収集の経験者が多い。

ひるば

期間中は、雨が降ったりやんだり、作業能率も見学も今一ではあったが、沖縄戦の厳しさをしのび、平和の尊さをしみじみと感じ、私自身の生活を見直す好機となった。まさに貴重な心の財産とも言える体験だった。聞けば、いまだ南部を中心に四千余柱の遺骨が埋もれたままで、企画団体は来年も実施予定とか、積立と健康に留意し、また参加したいと願っている。

翌二日目は、那覇市の国際通りの早朝美化作業から始まり、一時間余実施した。続いて八時半には、南部の海岸に近い壕跡及び周辺の林内で、埋蔵文化財発掘の要領ながら、つるはしやシャベルを使って地表部分を取り除き、五十余年も埋もれたままの遺骨を、くまでや手で収集する。三日目と合わせ、今回は七柱の遺骨が収集され、慰霊することができた。作

業の前後には、護国神社や平和の礎ひめゆりの塔などの参拝と、旧海軍指令部壕、白衛隊の施設の見学もあって、観光もできた。四日目は、六時朝食後、空路宮古島へ飛び、午前中は島内見学。午後、県立宮古島厚生園での奉仕活動を実施。雨で外仕事ができず窓ガラス拭きや車いす洗い、一時間半ほどで完了し、その後、同園の肢体不自由な施設の方々との交流会は、ゲームや歌で盛り上がり、楽しい一時をもつことができた。最終日は、見学も十一時までで那覇経由で帰途につく。

一、生涯学習による地域社会の活性化の推進―省略―

- 行政、企業、民間団体等による全体的な取組を
- 学習成果の活用とまちづくりの推進
- 「全国生涯学習市町村協議会」(仮称)の設置を

二、活動の場づくり

1、学校での活動参加

- (1) 学校支援ボランティアの推進

地域社会の重要な核である学

平成11年6月
に生かすにあたっての

(答申より第4章抜すい)

校を、地域に支えられ、また地域に貢献するという「地域に根ざした学校」にするためには、学校をより開かれた存在にするとともに、地域住民による多様な学校支援ボランティア活動の充実が重要である。

また、ボランティアによる学校支援は、学校の持つ閉鎖性を排除し、地域住民の学校への理解・共感を深めるためにも必要なこととなっている。さらに、平成14年度から施行される新学習指導要領の趣旨を生かして、学校においては、特色ある活動を推進し、学校を活性化していく上で、地域の人々にボランティア等として学校の場に参加していただく取組が重要となってくる。

なお、こうした地域社会からの支援の受入れにあたり、学校の教員の意識改革はもとより、学校施設等のあり方の見直しも必要となる。学校開放事業の実質的な促進のための施設整備、余裕教室の活用によるPTAや地域の人々のためのスペースの整備、さらには、社会教育施設や社会福祉施設等との複合化等も前向きに検討されるべきである。

学校支援ボランティアの例としては、次のようなものがあげられる。

(授業)

郷土学習、環境学習、勤労生産学習等の学習において、地域の伝統芸能、自然環境等を教材化するともに、地域の人々も指導補助者として授業に参加させることが行われるようになってきている。

- 新潟県小千谷市立小千谷小学校PTA

月1回程度の保護者の学習参加日(保護者が子どもとともに授業に参加、教員の指導補助を行う)や学級担任からの学習参加要請があった時、教員のアシスタントとして、教材を作ったり、子どもたちと一緒に活動したりする。1年生の国語では読み聞かせ、音読チェック等、2年生の算数では九九のチェック、5年生の家庭科ではミシン縫いの指導等、全学年、全教科において実施している。

(部活動)

個々の学校ごとに、地域の指導者がクラブ活動・部活動の指導補助を行う例は少なくないが、最近では、学校の枠を越えて複数校でまとめて活動を実施する場合も出てきている。その際、多くの住民ボランティアが組織的に指導を担当するケースも出ている。

○ 新潟県長岡市

小中学校の課外に、学年・学区の枠を越え、体育・芸術・言語の3分野で、教育委員会派遣の市民ボランティアにより指導が行われる。

(特別活動)

様々な学校行事等が地域の人々や団体の協力で実施されるようになってきている。

- 千葉県習志野市立秋津小学校

秋津まちづくり会議、連合町会と共催して「秋津小学校と地域の運動会」を実施している。学校では、余裕教室を改造して地域の大人の学習団体「秋津コミュニティ」に学習の場「コミュニティルーム」を提供するが、この「工夫クラブ」の父親たちが、運動会でも使う小道具を作成、提供している。

(学校図書館運営)

学校図書館の管理・運営については、特に、ボランティアによる支援が求められており、地域住民や保護者により、児童生徒の読書活動の支援と併せて、地域への貸出事業も行われるようになってきている。

- 栃木県鹿沼市「鹿沼図書館ボランティア」

市教育委員会、市立図書館の

支援を受けて、司書資格を持つ市民、あるいは研修により必要な知識・能力を身につけた市民ボランティアが、学校図書館や公立図書館の要請に応じ、それらの図書館に派遣され、図書館の運営を支援している。

- (2) 特別非常勤講師制度の活用
- ―省略―
- (3) PTA活動の新たな展開
- ―省略―

2、地域での活動参加

- (1) 公民館等の講座・学級の住民参加型の自主的な企画・運営

従来は、社会教育施設の専門職員が講座を企画し、また、自ら指導者として講義するものも少なくないなど、学習者が受け身で学習することが通例であった。しかし、最近では、学習者自らが委員会を作つて、学習プログラムを企画したり、講師等を選定したりするなど、住民による参加・企画型の市民講座等が出てきている。また、公民館等での学級・講座を、住民の個々の小さな学習グループごとの希望によつて編成する個別運営型の講座等もある。

今後、行政は、行政課題に応じて自ら企画・計画する事業の、

資料提示

『学習成果を地域の発展
課題と対応方策』

生涯学習審議会

プが事務局に申し込み、紹介された講師と相談して、場所・日時が決まったら学級として成立するということもある。

(2) 地域ぐるみの組織的活動

PTA、自治会等地域の様々な団体が集まり、地域ぐるみで、子どもの健全な育成のために学習し、その成果を生かした活動が求められている。

○ 神奈川県川崎市「地域教育会議」

中学校区ごとに、PTA・子ども会・町内会等の代表者、住民委員(教育に関心を持ち、地域の人々の推薦で参加する)、教職員、子ども文化センターや市民館の職員等から成る会議体で、市民の教育に対する意見を、行政や学校、青少年団体等に反映させるとともに、地域の学習・教育についての人々のネットワークを作ること努めている。「教育を語る会」の開催、学校での行事への参加、広報紙の発行、地域の教育への住民のニーズの調査等も行う。

(3) 地域の子育て支援ネットワーク

核家族化の進展や地縁的なつながりの希薄化を背景に、地域の親たち相互の、子育てのための支援活動が行われるようになってきている。その際、地域の子育ての経験者やお年寄り等が、子育てについての悩みやストレスを解決するため、大きな役割を果たすことが期待されている。

○ 岐阜県「地域子育て支援システム」

子育てを終えた女性を「コミュニティママ」として位置づけ(登録制)、①保護者の病気に伴う子どもの世話、②保育所の保育時間前後の子どもの世話、③保育所への送迎、④妊娠婦家庭の家事、⑤学校放課後の児童の世話、⑥育児相談などの子育て支援を行う。

(4) 青少年の健全育成のための社会教育事業

特に最近、青少年の非行問題等が憂慮される状況となっている。これに対しては、様々な対策を講じる必要があるが、中・長期的には、子どもたちに自然の中での遊び、体験活動、サバイバル体験等を重ねること、教育上の有効性も指摘されるところとなっている。

(5) 学習成果についての様々な評価システムの促進

学習成果としての知識や技術について、客観的評価や証明のシステムがあれば、人材を登用したり、活用したりする際の手がかりになり、学習者としての自らの成果の活用につながられることは確かである。また、学習成果が広く社会的にも適切に評価され、活用されるようになれば、結果として、学歴偏重といわれてきた社会的な弊害も緩和されることが期待される。

現在でも、公益的な団体・協会等において、関係する学習分野の領域に依拠して、何らかの評価の仕組みで運営され、それによって学習者が地域社会での活動に参加しやすくなっている例がある。学習者にとって、資格取得が地域での活動を促進し、その活動が新たな学習への意欲を生み出し、さらに高度な学習へと発展していく好ましいサイクルで展開している例もある。

研究会「地域アニメーター制度」・「まちづくりコーディネーター制度」
地域でのまちづくり・生涯学習での中心的活動をする人や指導者に対しての評価・評価制度。全国で開催される認定講座(教育委員会等の既存の講座)を受講し、所定の課程を履修し、実践活動のレポートを作成し、審査に合格することが要件。
認定後は、本研究会や地方公共団体で行う各種研究会、研修会、イベント等で運営者、司会、助言者、発表者として活動することとなる。

いずれにしても、行政自身が直ちに学習者の学習成果や能力を一般的に評価することは実際上難しいところから、行政としては、それぞれの分野において行われる団体等の独自の能力評価のシステムを支援し、それぞれのさらなる向上を期待するとともに、希望する学習者に対し、そうしたシステムのあることを情報提供したり、学習成果のある人を受け入れる意向のあるところに、能力評価の一つとして活用しうることを紹介したりすることが適当であると考えられる。

○ 全国生涯学習まちづくり研

ほか、事業の企画・広報を行う委員会の委員や、運営スタッフ等に住民の参加を求めると、参加者が学習成果を生かして実際に活動を行うような事業の実施にも、積極的に取り組む必要がある。
○ 福岡県宗像市の「市民学習ネットワーク」事業
他薦により認定講習を受けて登録された市民ボランティアを講師に、市民が少人数で身近な場所で行う学習を行政が支援するもの。学級の開設は、事務局が予め広報紙で講師・場所・時間を定めて学生を募集するもののほか、5人以上の学習グループ

実践記録シリジク(42)

「おやじ大学」から

「さわやか大学」へ

潟東村公民館



開講式での調理実習

○ はじめに

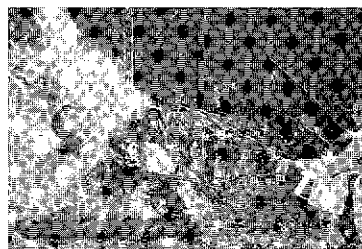
いつの間にか落第に落第を重ね、四十・五十歳にもなつてしまつた。という訳でもないのですが、今、潟東村には四十歳代から六十歳代までの大学生が、なんと二十名ほどおられます。「それはいったいどんな大学生なんだい？」と思われる方

も多いことでしょう。この何かヘンテコな大学生。実は、三年前に「おやじ大学」という名称で公民館の新規事業として受講生を募集しました。

そして、入学してきたオヤジさんたちは、昨年からは女性も仲間に入れ、名称を「さわやか大学」に変えて、「元気に自主的な活動を展開しています。それでは、この概要を簡単に紹介させていただきます。

○ 趣 旨

まず、この事業のねらいとするところは何だったのかということ。働き盛りの年代は、ややもすると、職場中心の人間関係・生活になりがち。そこで、もっと地域に関心をもち、地域で人々との出会いを大切に、共に学び自己啓発・仲間作りをしていこうというのがねらいでした。



さいの神を子どもたちと

○ 事業内容

では、どんな事業を行ってきたかという点です。今年度のスケジュールを表にしましたが(当初のおやじ大学の内容についても同様)キーワードは、「生活に身近な題材」。それを主軸にして新しい知識・技術を習得して役立てるという内容になっていきます。

○ 活動状況

公民館事業として「おやじ大学」がスタートしたのが平成九年度。それから男女共学の「さわやか大学」になったのを期に公民館から手を離れ、自主運営になったのが平成十一年度ですから、「早い自立」でした。

最初の趣旨がオヤジを対象にだったのが、あつという間に男女共学になった訳ですが、大学生白らが男女共学へと開拓したこと自体に自主的な学習意欲の

現われとして評価できると思います。自主運営面でも、もう少し述べますと、さわやか大学の会員が事務局を担当し、諸連絡文書の作成・会計を遂行しており、更には、四つの分部体制をとって、各会員がいずれかの部に所属して各事業プログラムを担当、きりもりしているということになります。

ちなみに、四つの分部は、体育部・文芸部・情報部・生活部とした構成になっています。この各部の独立した体制で、それぞれの事業を受けもつたところに部員の協力がうまく乗っかっている。この連携プレーによって大学全体の活動が活発化、また、ネットワークの拡充につなげていきます。そして、公民館との関係面でも、例えば、村子ども会事業への協力参加、文化祭への作品展等々、常に地域に目を向けた活動を行つて、公民館との関わりを保ちながら根の張つた活動を男女仲よく「さわやか」にやっています。

○ 更なる充実をめざして

さわやか大学では、活動紹介と足跡を残していく意味で、機関紙を発行しました。そこには学ぶことの楽しさ・充実感を求めていくという人間らしい前向

きな姿勢が伝わってきます。今後、さわやか大学が地域と共に更に充実した大学へと継続していくよう望むものです。

(平松 泰明 記)

平成11年度 さわやか大学学習内容

回	実施日	学 習 内 容
1	4月29日(日)	《開講式》 学習会：生活習慣病と食事について・調理実習
2	5月22日(木)	村長講話：村の現状と将来について・懇親会
3	6月26日(日)	遠足：初夏の季節を楽しむ
4	8月17日(火)	近畿大学生との交流会
5	9月26日(日)	学習会：性別役割分業を考える
6	10月24・25日(日・月)	修学旅行：新たな発見を求めて(木彫り体験)津南町、松之山町
7	11月3日(水)	学習会：介護保険を考える
8	11月13日(土)	学習会：より自分らしく生きるために
9	11月27日(土)	歴史探訪：村内の文化財めぐり
10	1月22日(土)	(番外編) 子ども会と菓の絆づくり
11	1月25日(火)	体験スポーツ：ダンベル体操で気分爽快。いい汗かこう。
12	2月27日(日)	《閉講式》 講演会「この頃の子どもの事情」

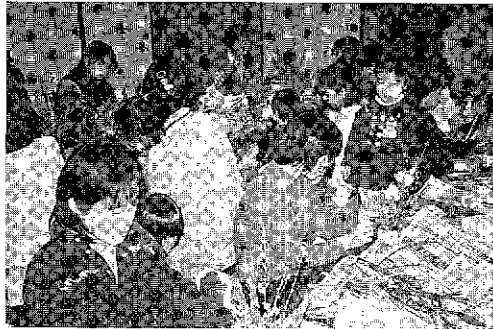
サークル交流

はっい！
ひまわりサークルです

ひまわりサークル

こんにちは。小千谷市に四つある子育て自主サークルの一つです。0歳児〜3歳児の親子中心に、週一回公民館を中心に集まり、活動しています。

私達は、現在、親35名、子44名合計79名の大所帯です。四班に分かれ、各々の班が担当月に企画・運営しています。活動内容は、毎月のお誕生会・ネットワーカーさん達と遊んだり、パネルシアター、エプロンシアター



を見たり、雪遊び、水遊びやその時に使うおもちゃ作りなど。

時にネットワーカーさんの協力を得て、ママ達だけでソフトバレーボール大会・テニス・フライング大会・育児に関する講演など、多種多様な内容を行っています。参加率も良く皆とても楽しんで行っています。

また、企画はとて大変な仕事ですが、「企画の話し合い」を通して育児相談をしたり、ぐちを言ったりと、お互いを深める場もあります。

ひまわりの花のように、明るく元氣な親子でいようね！

(ひまわりサークル代表

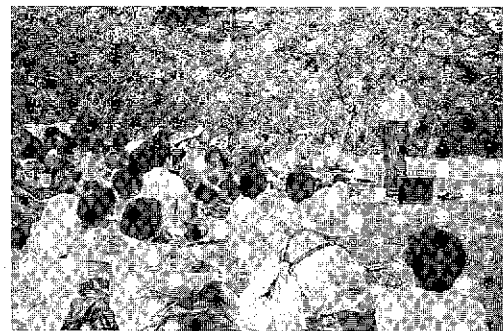
安藤 久仁子 記)

幼き日々よ、もう一度

カナリヤの会

「歌を忘れたカナリヤは」この歌が毎月第二・四日曜日の午後一時半、公民館の大ホールに響きます。人よんで「年を忘れたカナリヤ」の会の始まりです。

人前では歌えないけど昔習った唱歌や童謡をまた歌って、ひととき幼かった昔に戻りたい、そう願う人達が集まって自然発生的に生まれた会です。会員は



熟年女性約七十人。選曲は自分達ですが、先生は、同じ曲でも歌い手によって歌の味が異なり、いろいろな方のテープを聴かせると、下さるのも楽しみの一つです。

行事は、町内の老人福祉施設訪問と、七月の「七夕音楽鑑賞会」。

これは県内の著名な音楽家にお願ひして、町民の方々と一緒にすばらしい生の歌声を聴かせていただきます。今年はや、野外コンサートと称して弥彦公園へ行き、自然の中に私達の歌声を溶け込ませてきました。来年もやろうと楽しみにしています。会の終りは、「いつまでも絶えることなく 友だちでいよう」と歌ってさよならをします。

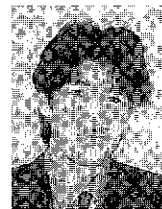
(古田町 カナリヤの会

解良 良子 記)

両津市公民館

主事 浜崎賢一 さん

商工観光課、農林課等を経て、四月に異動してきた浜崎さんは、とてもフットワークがよく、細かい所に気がつく人です。(褒めすぎ)ただ、人に気を使うため、自分の意見が半減してしまいう事が度々あります。(まあ、勉強不足は否めないが・・・)しかし、その人柄を買われてか、色々な事を頼まれます。現在、市美術展覧会など多く



素顔拝見

の仕事をごなしています。また、意外にも字がうまく、講演会などの標題を書いたり、様々な分野で活躍しています。最近、携帯のiモードを購入し、メールを使っています。さらに、とても、スポーツマンで、バスケット、バレーなどのチームに参加し、中心的な役割を果たしています。持ち前のフットワークの良さで、近い将来、仕事のうえでもリーダーシップをとって、公民館に無くてはならない人になりきつとる事を期待しています。

(両津市公民館 正司 政行 記)

能生町公民館

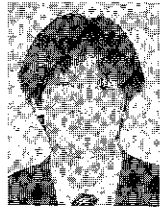
主事 土肥正臣 さん

B&G海洋性レクリエーション指導員「アクア・インストラクター」

この度、彼に新しく付いた肩書きである。

公民館に新採用で配属されてはや三年目。昨年度はふれあい体験教室、駅伝大会や町民美術展等、いくつもの事業をこなし、やっと落ち着きはじめた冬の初め、予期せぬ長期研修を命ぜられたのが所以である。

今年、六月からB&Gグループの運営や海洋性レクリエー



ションの実践活動を通じて、青少年の健全育成に努める重要な任務を担う。

理数系出身だから(本人談)

と、どちらかというとデスクワークよりも体を動かす仕事を積極的に選び、休日も愛車を駆け、コイン片手に数字合わせに奔走するばかり。がんばれば、二四歳、こんな彼の春は遠い。

(能生町公民館 飯塚 肇 記)

恵贈資料紹介

平成十一年度

社会教育研究紀要第32集

上越地区社会教育委員連絡協議会
上越地区社会教育主事会

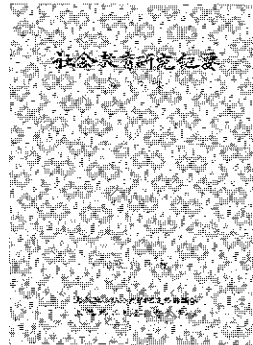


上越地区社会教育研究紀要第32集をご恵贈いただき、感謝いたします。地区の社教委員連絡協議会と社教委員が緊密な連携を保ちながら毎年刊行されておるのですが、内容面では、(1)社教委員の方々の研究実践、(2)派遣社教主

恵贈資料紹介

公民館五十年の歩み

新潟市



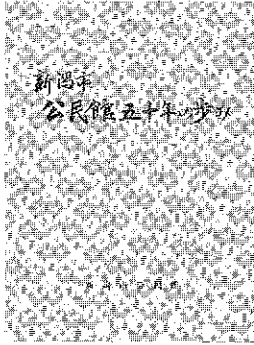
事等3年勤務者の研究実践、(3)研究会・事業報告等、(4)10・11

年度社教主事講習受講者研究レポートの概要、(5)会務報告、役員名簿等で構成されておりますが、いろんな角度・視点から会員の方々が執筆できるような態勢のようです。編集後記の、「今われわれは何をなすべきか」との問いかけに私自身も自省の要を感じた次第です。

一五六頁にわたる記念誌の内容容は、(1)50年の思い出、(2)事業の変遷、(3)50年の歴史、(4)概要(事業、施設、規則等)、(5)資料等で構成されている。

企画段階から原稿依頼、資料調査、編集、まとめ、校正の最終段階に至るまで、細密で丹念な仕事振りが紙面、行間からうかがわれる。記念誌の内容については、新潟日報京都版(12・3・18付)、

読売新聞新潟県版(12・3・21付)でも紹介されているが、いずれも随所に文面の引用紹介がなされ、高く評価していること



新潟市公民館

がうかがわれる。

約二年間にわたる記念誌の作成作業をとおして、実際に企画、編集に携わった編集委員の方々の実感、思い、労苦の程が編集後記に滲み出ていて、共感を覚えることができた。

今後、五十周年を迎える各市町村公民館関係者にとって大変参考になる記念誌でもある。問合せは、新潟市中央公民館まで。

平成12年5月の催物ご案内

平成12年4月29日(土)~平成12年5月7日(日)

サイエンスショー

シャボン玉と遊ぼう

○「巨大シャボン玉」や「シャボン玉のコブラ」など、実演をとおしてシャボン玉の不思議さを紹介します
○1日数回実施します。

平成12年3月5日(日)~平成12年6月4日(日)

プラネタリウム春番組

ペンちゃんど星空どっつえん

内容 アニメによる物語のなかで、美しい春の星空や星座を紹介します。大寒小寒動物園で生まれたペンギンのペンちゃんは、ギン婆ちゃんから、お母さんはペンギンの故郷、南極にいと教わっていました。南極の星空にあこがれるペンちゃん。ある日、ともだちのアイちゃんど春の星空をながめていると、ペンギン座(架空の星座)が見つかりました。そして、いつの間にかやってきていたギン婆ちゃんがペンちゃんに告げたことは…。

料金	大人	小・中学生
入館料	510円	310円
入館料+プラネタリウム	710円	410円

○幼児、障害者の方は無料です。
○プラネタリウムを観覧される場合は入館料が必要です。
5月の休館日は、1日(月)、8日(月)、15日(月)、16日(火)、22日(月)、29日(月)です。
※毎週月曜日の定休日のほかに、設備点検整備のための休館日があります。(5月は、16日(火)です。)

お問い合わせ先
☎ (025) 283-3331
FAX (025) 283-3336
Eメール nsm@coral.ocn.ne.jp (新アドレス。3月1日から)
ホームページアドレス http://www.laienet.gr.jp/nsm/index.html
〒950 0941 新潟市女池2010-15 新潟県立自然科学館

表紙解説

「学習の成果を生かそう」と読み聞かせ講座修了者による和納小学校での一コマ

子どもたちの輝く瞳が感動を与えてくれ、意欲の後押しをしてくれます。

読み聞かせを通じて、広い世界を知るキッカケになればと願います。

(岩室村公民館)

発行所 新潟県公民館連合会

〒951-8053

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【TEL・FAX (025)224-6073】

発行人 会長 今井昭友

編集人 事務局長 鈴木友夫

【定価1部150円 年共・年概1,800円】

◆年度初めの人事異動等まだまだ落着かない4月をお迎えのことと存じますが、51回の県大会も、早目に対応をモットーとしてスタートしております。(鈴木記)

あとかぎ